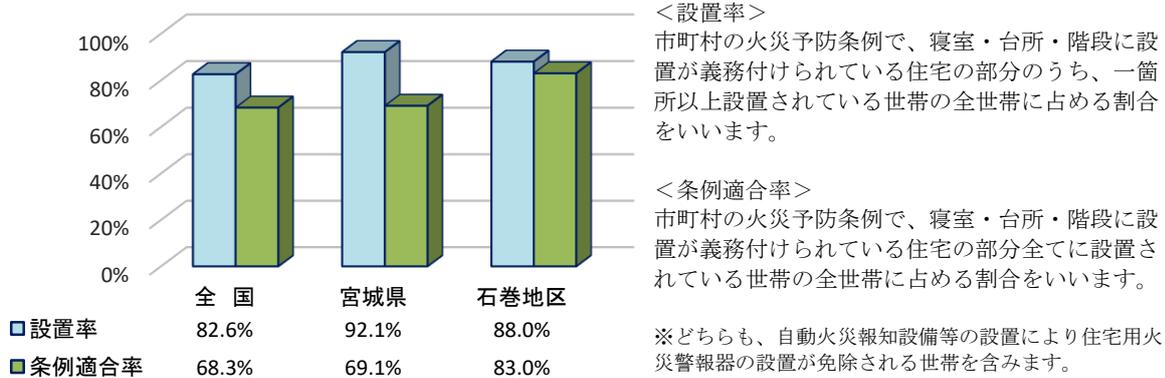


住宅用火災警報器 の 設置率と奏功事例

平成18年6月1日に施行された消防法により、全ての住宅に設置が義務づけられている住宅用火災警報器の設置率と条例適合率について、令和2年7月1日時点での調査結果が総務省消防庁によりまとめられました。

石巻地区管内においても、平成20年6月1日に施行された火災予防条例により新築・既存を問わず全ての住宅に対する設置の義務化から12年を過ぎましたが、設置率と条例適合率は全国と比較して高い水準となっています。

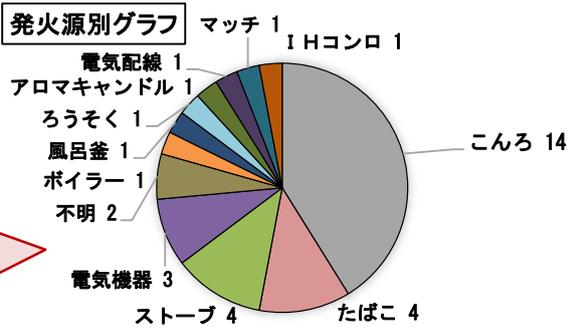
住宅用火災警報器の設置率と条例適合率（令和2年7月1日現在）



石巻地区の奏功事例はこれまでに34件。その状況は？

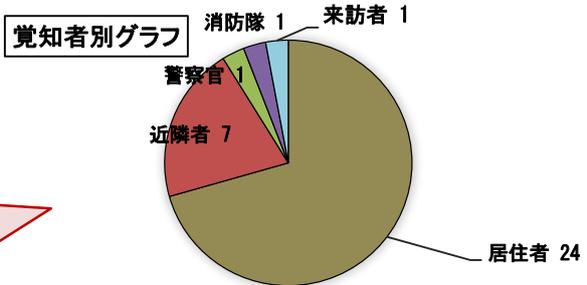
Q 鳴動したきっかけは？

こんろの火を消し忘れたために鳴動した事例が全体の約半数となっています。たばこの不始末や近年、一般的に普及しているIHコンロの使用法を誤ったことにより出火した事例もありました。



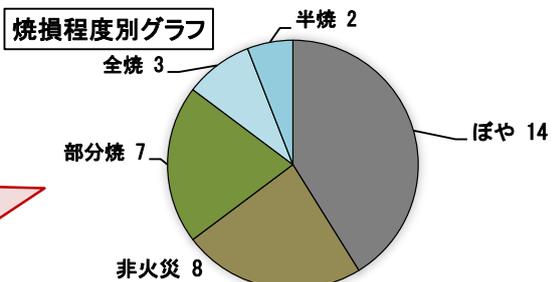
Q 音に気づいた人は？

居住者が全体の約3分の2を占めています。一方で、留守中に近隣者や訪問者が鳴動音に気づき、通報や初期消火を行っている事例もあります。



Q その効果は？

火災にならなかったものと、ぼやで済んだものを合わせて全体の約3分の2を占めています。また、大きな火災になってしまったものでも、逃げ遅れずに済んだ事例もあります。





住宅用火災警報器奏功事例から、その一部を紹介します



令和2年9月現在

年 月	発火源	出火、鳴動、初期消火等の状況	結果	効 果
平成26年 9月	こんろ	ガスコンロの熱により壁内部から出火したものの。調理中にその場を離れていた居住者が、鳴動で火災に気づき、同僚に連絡した。駆け付けた同僚が水道水を汲んで初期消火した後、通報した。	ぼや	早期発見 早期消火
平成29年 4月	電気機器	居室にあるキャビネット内から煙が出ていたもの。居住者が台所で調理中、居室に設置していた住宅用火災警報器が鳴動したため火災に気付いた。水道水による初期消火に失敗したが、すぐに避難し、通報した。	ぼや	早期発見 早期避難
平成29年 7月	電気機器	2階寝室ベッド上の毛布が燃えていたもの。1階にいた居住者が階段部分に設置していた住宅用火災警報器の鳴動に気づき、2階寝室へ向かい火災を発見。すぐに避難し、通報した。	半焼	早期避難
平成30年 7月	マッチ	家人が外出先から帰宅した際、自宅内で住宅用火災警報器の警報音が鳴っていることに気がつき、自宅に入ったところ、何か燃えているような臭いと煙が充満しており、2階南西室から炎が上がっているのを発見した。その後自宅1階の水道からバケツに水を汲んで消火した。(成功)	ぼや	早期発見 早期消火
令和元年 7月	アロマキャンドル	居住者が住宅用火災警報器の鳴動及び煙の流入に気が付き、隣接する事業所へ駆け込み、119番通報を依頼した。	ぼや	早期発見
令和元年 10月	電気機器	就寝中、住宅用火災警報器の鳴動で起きたところ、台所から火煙が見えたので携帯電話にて119番通報した。火煙により玄関から避難ができず、バルコニーへ避難し消防隊により救出された。	部分焼	早期発見
令和2年 7月	IHコンロ	使用済みのサラダ油を廃棄するため天ぷら鍋に凝固剤を投入し、IHコンロを加熱したまま寝室で洗濯物を取り込んでいたところ、台所の住宅用火災警報器の警報音が鳴り発見した。	ぼや	早期発見

～ まとめ ～

設置率や条例適合率は、石巻地区圏域住民のみなさんが住宅用火災警報器の必要性を理解し、住宅からの出火防止に対し意識が高いことを表しています。

鳴動した状況や奏功事例は、住宅火災における「早期発見・早期消火・早期避難」に高い効果を発揮していることがわかり、火災による被害の軽減や命を守ることに直結していることを示しています。

しかしまだ、住宅用火災警報器の設置率・条例適合率ともに完全ではありません。

火災から大切な家族を守るため設置していないお宅は今すぐ設置し、既に設置されたお宅については正常に作動するよう日頃から点検をしっかりと行いましょう。

石巻地区広域行政事務組合消防本部

